66 期生

# １ 年生学年だより

豊中市立第五中学校　2017 年６月５日(月)　No.7

## ～校外学習へ向けて～

今週、１年生は校外学習があります。詳しい説明は別紙やしおりにてお知らせをしますが、その日は電車で万博記念公園へ行き、午前中は民族学博物館にてオリエンテーションを、午後は広場にて学年レクレーションを行う予定となっています。そのため、議員さんを中心にルールなどを考える議員会を開いたり、各クラスでは学活や道徳の授業で校外学習へ向かうための準備が進められたりしました。

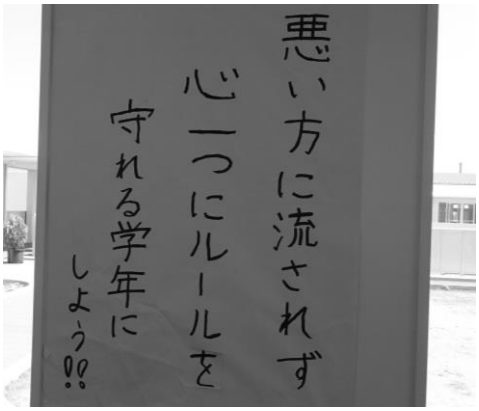
先週の道徳では、民族学博物館（略してみんぱく！）での学習を見据え、さらには学年の問題にも焦点をあてるため「世界がもし１００人の村だったら」という題材の学習を行いました。世界の様々な人々の話が出てきましたが、その話を元に各自で感じたことをまとめてもらい“今の自分”を見つめなおすということをしました。当たり前だと思っている今の暮らしや環境のこと、ついつい忘れてしまう周りへの感謝の気持ちや思いやり、日々の自分の生活、はたして自分自身は「本当に精一杯頑張っているのか？」「日々の生活への感謝の気持ちを忘れていないか？」「自分と他の人との違いを認め、尊重し合うことができているのか？」ということをもう一度考える、そんな機会になるよう作られた学習内容でした。

shouko

この学年の目標でもある「違いを認め合い、助け合う、支えあう」ということですが、みなさんも頭の中では「とても大切な事だ！」と分かっているのだと思います。しかし、分かっているはずなのにできない、忘れてしまうという場面がこのところの１年生の中ではよく見られます。これは一体なぜなのでしょうか。

やはり“自分のこと”として考えることができていないのが第一の原因だと思います。“自分”が他人の気持ちを知ろう、考えようとしなければ自分勝手な振る舞いも増えますし、結果的に人に迷惑をかけてしまうことにもなります。例えそれが「楽しく遊んでいるつもりが…」という悪気の無い言葉遣いや行動だったとしても、相手にとっては嫌だったり、傷ついたり、やりすぎて大きな事故につながるということも考えられます。また「怒られるから止める」という気持ちでは、誰も見ていないところで好き勝手な行動をし、「ばれなきゃいいわ」になってしまいます。

校外学習では、安全に、怪我無く、楽しく学習し、帰ってくることが目標です。班で行動する場面、クラスで行動する場面、学年全体で行動する場面が多々出てくると思いますが、そんな時、自分勝手に行動し、「いちいち注意を受ける＝ストップがかかる」ようでは困ります。最悪の場合、学年としての動きがとれなくなったり、重大な怪我や事故にもつながったりすることもありえます。そうならないためにも、どのように行動し協力していくのかということはもうみなさんの頭の中では分かっているはずです。ぜひ、みなさんのすばらしい力を発揮し校外学習を成功させていってほしいと思います。



「みんなで最高の校外学習にしよう！！」を達成するためにはどうすればよいかを１分間目を閉じて考えてもらいました。